

# 進路だより

No. 1 令和7年5月15日発行

東京都立田園調布特別支援学校長

川崎 淳子

担当：後藤 貴久

日頃より本校の進路指導について、御理解、御協力をいただきありがとうございます。

新年度に入ってから福祉相談機関訪問や各学年、在住区の進路説明会など、進路行事がたくさん行われ、保護者の皆様にはお忙しい中、御協力いただきありがとうございました。進路に関する情報は多岐に渡り、全てをすぐに理解することは難しいです。この進路だよりでは、少しでもわかりやすく進路に関する情報を発信していければと考えていますので、内容を御確認の上、分からない点がありましたら各学年の進路指導担当者までお問い合わせください。

## 1 学期の主な進路行事

### ○福祉相談機関訪問（対象：3年生生徒・保護者）

4月末～5月初旬に行います。福祉サービスを利用する際、自分の利用する相談機関の場所や担当者を知るため、実際に訪問して担当者と話をします。利用できるサービスについて説明を受けた後、個別に担当ケースワーカーと面談を行います。卒業までに必要な手続きの流れについて知ることができます。

### ○各区進路説明会（対象：在住区の保護者）

各在住区の障害福祉担当者をお呼びして、進路決定までの流れや障害福祉サービスの概要など説明を聞きます。また、福祉施設についての最新情報を知ることができます。

### ○各学年進路説明会（対象：各学年の保護者）

各学年での進路行事についての説明と、現場実習に関する流れや目的などを説明します。各区の進路説明会と重複する内容もありますが、主に現場実習について詳細をお伝えすることと、過去の進路指導の経験から進路選択のヒントになるような内容をお伝えします。

### ○1期現場実習（対象：2・3年生）

体育祭が終わる5月中旬以降から7月17日（木）までの間に、2年生は1日～10日間、3年生は3日～10日間の現場実習を行います。現場実習とは、学校卒業後の社会的・職業的自立に向けて実際に企業や福祉事業所などで体験することで、主体的に進路選択できるようにするために行っている教育活動です。実習の進め方の例として、「進路希望アンケート→面談→実習先決定→個人目標決め、実習日誌作成→事前面接→通勤練習→現場実習→反省会→お礼状作成→評価表を基に進路面談」と長期間の準備が必要となります。

### ○通勤寮見学（対象：企業就労希望者で見学を希望する3年生生徒）

東京都には通勤寮が六つあり、本校では夏季休業中に大田通勤寮の見学に行きます。通勤寮とは、障害福祉サービスである宿泊型自立訓練の一つで、生活支援と就労支援を受けながら、将来の自立生活に向けて必要なことを学ぶ生活の場です。利用期間は原則2年で、卒寮後をグループホームや一人

暮らしの生活に巣立っていく方もいます。

### ○求職登録（対象：3年生企業希望生徒・保護者）

夏季休業中に行います。求職登録とは、就労を希望する方が管轄のハローワークに職業紹介の依頼を行うことです。登録することで、障害者求人の紹介を受けることが可能となるので、企業就労を目指す生徒は必ず登録が必要です。

## 保護者の方へ 進路選択の幅を広げるために

- ・体調管理（食事・睡眠・清潔・運動・服薬等）の安定。
- ・交通機関利用の経験を増やす。
- ・いろいろな道具や文具を、日常生活で使う機会を増やす。
- ・余暇は好きなことや楽しいことをして過ごし、気分転換する。

## 生徒の皆さんへ

## そつぎようご じりつ すてき しゃかいじん め ざ 卒業後の自立と素敵な社会人を目指して

- ・自分<sup>じぶん</sup>から挨拶<sup>あいさつ</sup>をしましょう。
- ・身だしなみ<sup>み</sup>を整<sup>ととの</sup>えましょう。
- ・学校<sup>がっこう</sup>や社会<sup>しゃかい</sup>のルールをまも<sup>まも</sup>りましょう。
- ・規則正<sup>きそくただ</sup>しい生活<sup>せいかつ</sup>を心掛<sup>こころが</sup>けましょう。
- ・家族<sup>かぞく</sup>の一員<sup>いちいん</sup>としてお手伝い<sup>てつだ</sup>を<sup>おこな</sup>いましょう。

## 令和7年度の進路指導担当者

1年：上釜 綾子 原田 聡  
2年：荒井かさね 宮下 強 飯島 未来（専任）  
3年：谷口 圭 堀 雅秀 池田 栄美（専任）  
非常勤教員：北原美知代  
進路指導主任：後藤 貴久

今年度は以上の10名が中心となって進路指導を担当します。御心配なことは、担任・進路指導担当者にお問い合わせください。1年間、よろしくお願いいたします。